登窯広場

レンガ造りの登窯（陶榮窯）に隣接するこの広場は、やきもの散歩道 A コースのほぼ中間に位置し、休憩に最適な場所である。広場の見どころは 2 階建ての建物で、1 階には保存状態の良い 19 世紀の窯、2 階は展示スペースと工房になっている。

窯では、入り口が 2 つあり、陶器を効率よく積み込むことができる両面式窯の保存状態の良い例に入ることができる。この窯は、醤油差し、陶管、急須、盆栽鉢など常滑の様々な特産品を生産するために長年使われてきた。

展示スペースでは、地元の新進気鋭の陶芸家による作品が展示されており、お土産や贈答品に最適なアイテムが豊富に揃っている。陶器や招き猫の絵付け体験もできる。年齢を問わず参加でき、事前予約は不要。ただし、制作した作品は施釉、焼成後、数週間後に参加者に郵送される。

広場には、大きな現代的屋外陶芸作品が 2 つある。ひとつは柴田正明氏（1948–)作『時空』というダイナミックな青い彫刻だ。広場の中央に位置するこの作品は、杉江淳平氏(1936–2005）作『輝』と並んでいる。『輝』は色とりどりのタイルがきらめくモザイクの壁である。